

Europe Trends

発表日：2021年3月9日(火)

ドイツ連邦議会選挙の前哨戦

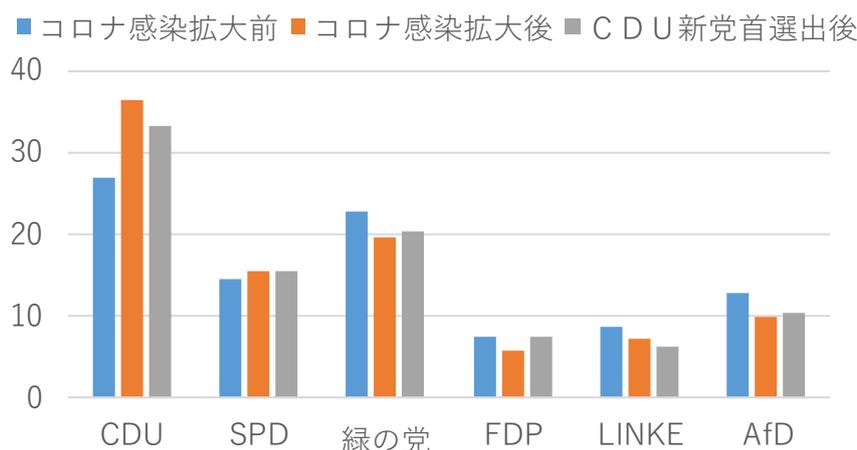
～ワクチン接種の遅れとスキャンダル発覚で与党に逆風～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

◇ 秋の連邦議会選挙の前哨戦となる14日の州議会選挙を前に、マスクの公共調達を巡る与党議員のスキャンダルが相次いで発覚。州議会選挙で与党の勝利は難しい情勢だが、予想以上の大敗となれば、1月に就任したラシェット新党首の後継首相候補への道に暗雲が広がりがねない。

ドイツでは秋の連邦議会選挙の前哨戦となるバーデン＝ヴュルテンベルク州とラインラント＝プファルツ州の議会選挙が14日に行われる。1月の党大会で保守系与党・キリスト教民主同盟（CDU）の新党首に就任したノルトライン＝ヴェストファーレン（NRW）州首相のラシェット氏にとって、党首としての力量を示し、連邦議会選挙で与党の統一首相候補となるための第一関門となる。メルケル首相の有力な後継候補とされたクランプ＝カレンバウアー前党首兼国防相は、相次ぐ失言や欧州議会選挙での苦戦に加え、東部チューリンゲン州の州首相選出を巡る党内掌握の失敗が最終的な引き金となり、後継首相レースから脱落した。ラシェット氏の党首就任後、ワクチン接種の遅れや都市封鎖の再開など、連立政権のコロナ危機対応に一部で批判の声もあがっており、与党がやや支持を落としている（図表1）。今回の州議会選挙後にバイエルン州で活動する姉妹政党・キリスト教社会同盟（CSU）のゼーダー党首兼バイエルン州首相と協議し、連邦議会選挙後の政界引退を示唆しているメルケル首相に代わる首相候補を一本化する。

（図表1）ドイツ政党別支持率調査（％）



注：2020年以降の調査を対象とした平均値

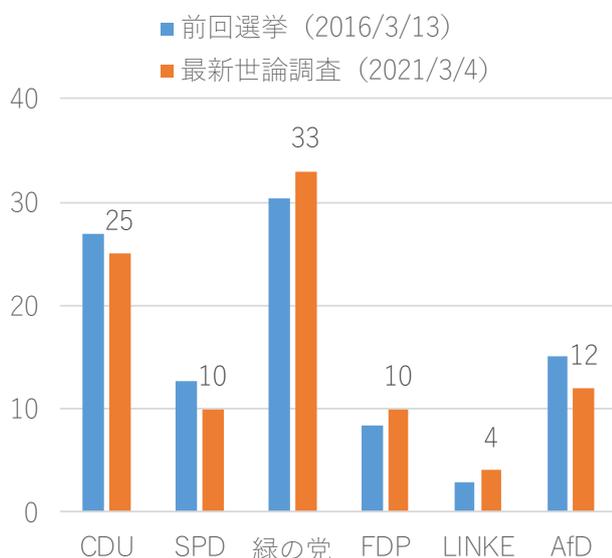
出所：Infratest dimap資料より第一生命経済研究所が作成

重要な州議会選挙を前に、コロナ危機対応のマスクの公共調達で与党議員の所有する企業が販売業者から仲介手数料を得ていたことが相次いで発覚し、政治的な波紋を広げている。当該議員は離党と秋の連邦議会選挙への不出馬を表明したが、ラシェット党首は即時の議員辞職を求めている。穏健中道派でメルケル路線の踏襲者とされるラシェット氏は、後継首相レースでライバル関係にあるゼーダー氏と比べ、リーダーシップやカリスマ性に欠けるとの評が一般的だ。党首就任後は毅然とした態度で党運営に臨み、首相候補としての立場を固めようとしている。

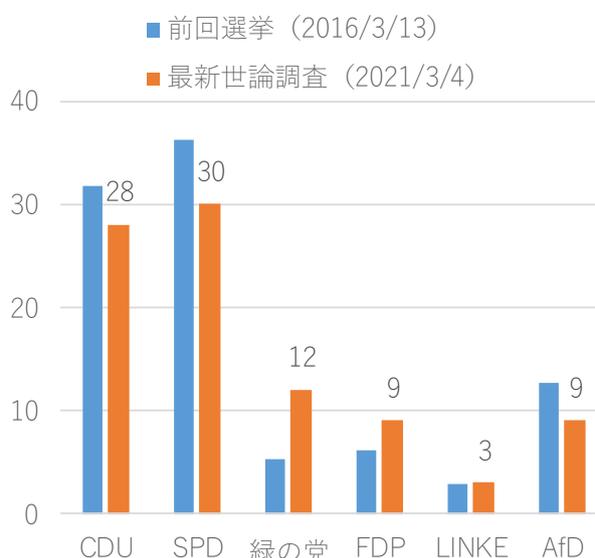
バーデン＝ヴュルテンベルク州はドイツ南西部に位置し、16の連邦州で3番目の人口を擁し、世界的に有名な自動車メーカー、機械メーカー、ソフトウェア企業などに加え、ドイツ経済の屋台骨を支える数多くの中小企業（ミッテルシュタント）を抱える工業州として知られる。長らくCDUが牙城としてきたが、東日本大震災の原発事故直後に行われた2011年の州議会選挙で、環境政党・緑の党出身のクレッチュマン氏が中道左派・社会民主党（SPD）の支持を受け、ドイツ史上初の環境政党出身の州首相に就任した。2016年の前回選挙で緑の党は第一党に躍進し、現在はCDUとの間で連立政権を運営している。現在72歳のクレッチュマン州首相は、かつて過激な主張が目立った緑の党内の穏健派で、今も絶大な人気を誇る。最新の州議会選挙の世論調査で、緑の党はCDUとのリードを広げ、前回選挙を上回る議席獲得が視野に入る（図表2左）。世論調査通りとなれば、選挙後は再び緑の党主導の政権にCDUが加わり、州議会運営を行う可能性が高い。CDUの逆転勝利は難しい情勢にあるが、前述のマスク調達スキャンダルの1つはバーデン＝ヴュルテンベルク州のもので、さらなる傷口を広げないことがラシェット氏の後継首相候補への道につながる。

（図表2）ドイツ州議会選挙の世論調査（％）

【バーデン＝ヴュルテンベルク（3/14）】



【ラインラント＝プファルツ（3/14）】

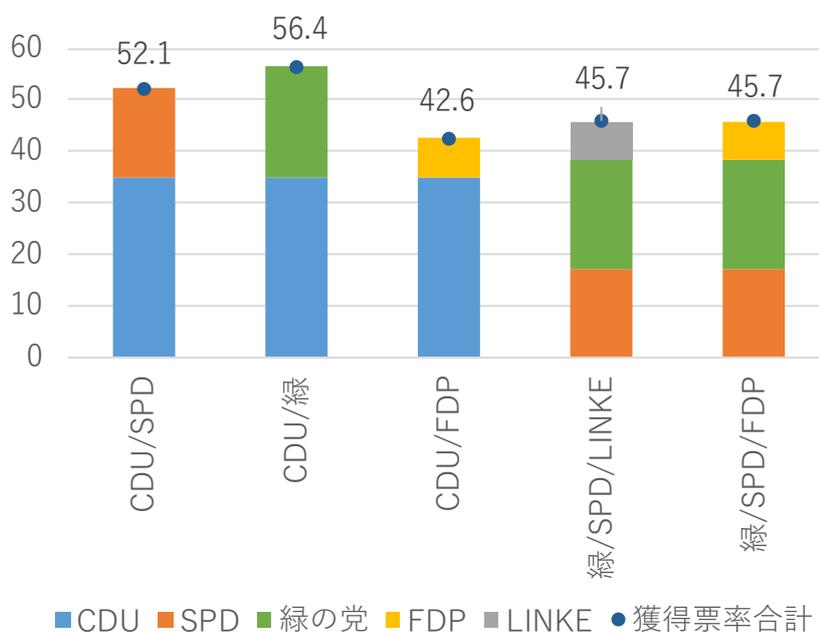


出所：infratest dimap資料より第一生命経済研究所が作成

緑の党にとっては、同州議会選挙での勝利を追い風に、秋の連邦議会選挙での支持拡大や政権奪取の足掛かりとしたい。現時点の世論調査では、連邦議会選挙後に議会の過半数を確保する組み合わせは、現在と同じCDUとSPDによる大連立か、CDU主導の政権に緑の党が加わるしかない（図表3）。大連立内で埋没したSPDは連立参加に消極的で、CDUと緑の党の連立政権発足が有力視されている。ただ、コロナ危機対応やスキャンダルなどで与党がさらに支持を落とせば、緑の党とSPDに、リベラル政党の自由民主党（FDP）や旧東ドイツの政党の流れをくむ左翼党（LINKE）を加えた左派連立政権の誕生も視野に入る。

もう1つの州議会選挙が行われるラインラント＝プファルツ州は、軽工業品やワイン輸出が盛んなドイツ西部の中規模州で、現在SPDが主導する政権に緑の党とFDPが加わり、州議会を運営する。州議会選挙の世論調査では、当初CDUがSPDを僅かにリードしていたが、最新の世論調査で逆転している（図表2右）。選挙後は再びSPD、緑の党、FDPが連立して州議会運営に臨む可能性が高い。ここにもコロナ危機対応やスキャンダルの影響が出ており、CDUが予想外に大敗した場合、ラッシュェット新党首への風当たりが強くなる。

（図表3）最新世論調査に基づく連立政権の獲得票率（％）



注：その他と未回答を除外して再計算した支持率の合計

出所：Infratest dimap資料より第一生命経済研究所が作成

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。